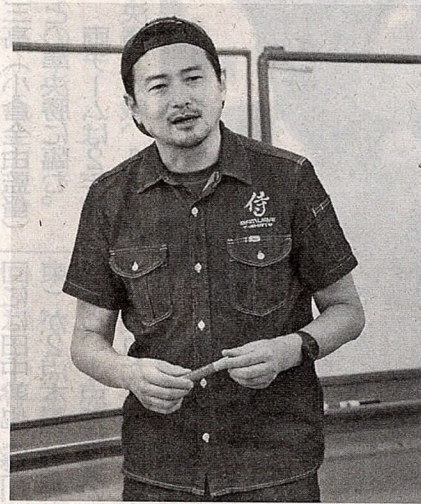


企業理念、ブランド確立とは

参加型交流会を開催

青梅のみんなのクラブ

ビジネスプラン実現への支援や企業間の情報交換などを通してビジネスのステップアップを図ろうと、一般社団法人「みんなのクラブ」(事務局〓青梅市河辺、代表理事〓波多野英嗣経営コンサルティング事務所彩りプロジェクト代表、会員20人)は13日、「参加型交流会」を青梅商工会議所で行った。



同クラブは経営層や管理層、メンバーらの交流会、新市場や新たなマーケティングの構築を図るビジネスマッチング事業やセミナーを開き、企業間の交流を深めて「将来的に上場企業を生み出すプラットフォーム」を目指すという。

当日は、青梅市内でTシャツを製造販売する「サムライTシャツ」の澤田佳久代表が「ベナンチャー企業だからこそそのマーケティング・ブランディングの重要性」をテーマに語った。澤田代表〓写真〓は

「ブランディングは大企業だけのものではない。むしろマーケティングが小さい業界か地方でこそ成功しやすい手法」とし、「必要な時にお客さまが御社を連想してくれるか」がキーワードと述べた。大手コーヒーショップやパソコンソフト会社、高級時計店のトレードマークを示した上で「何する会社、何を目指しているかが企業理念であり思想だ。その理想を達成するために、誰に何を提供するか、そのためにどういうブランドを確立するかが戦術」と説明。

「お客さま、従業員、地域のために常に人を驚かせる」を理念に「安い・簡単・高品質」

をモットーに西多摩の消費者、個人事業主、中小企業を対象とする同社の戦略を紹介した。

具体的にはTシャツに青梅市などの電話番号「0428」や青梅弁の「おっぺし」、

「だべ」をデザイン化したTシャツなどを販売。看板やカタログなどで色の統一、テント状のターフ無料貸し出しの地域貢献などはいずれも好評だという。

ブランドを確立することと「リピート率向上、従業員のモチベーション向上と新規従業員の確保がしやすい、新規顧客を獲得しやすいなどのメリットがある」と澤田代表。「誰にでもできること。効果は高いのでブランドを立ち上げてほしい」と呼びかけた。